

「あそび」を軸に多世代交流を促す 「京都市交流促進・まちづくりプラザ」を京都市と協働開発 ボーネルンドが指定管理者となり、9月11日にオープン

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、京都府京都市と連携し、2020年9月11日、京都市・阪急洛西口駅と桂駅間の高架下オープンする多世代コミュニティ空間「京都市交流促進・まちづくりプラザ」の施設づくりをプロデュースします。また、当施設の指定管理者として管理、運営を行います。

子どものあそびや多世代交流の促進にも … 社会インフラとしての「あそび場」を、多くの自治体と開発

当社は、これまでに培ってきたあそび場開発のノウハウを生かし、自治体と協業してこれまで30カ所のあそび場を開発してきました。これらの施設は子育て中の親と子に加え、幅広い世代の方々が交流するきっかけとなり、地域のコミュニケーションのハブとして、街の活性化に寄与しています。昨今、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少し、体力やコミュニケーション能力の低下が危惧されています。また、子育ての孤立化も課題となっています。こうした問題を解決し、多世代の交流を生み出す社会インフラとして、あそび場の開発を多くの自治体と協力しながら全国で進めています。

京都市：市民の交流を促進、まちづくりの拠点となる多世代コミュニティ空間を協働開発

京都市と阪急電鉄は、阪急洛西口駅～桂駅間の線路の高架化事業により生み出される空間を活用し、西京区エリア全体の活性化を目指す「洛西口～桂駅間プロジェクト」に取り組んでいます。同プロジェクトの一環として、豊かで活力ある地域社会の形成を目指す「京都市交流促進・まちづくりプラザ」を当社がプロデュース。2020年9月11日にオープンします。また、指定管理者として、当社が2024年3月末まで施設の管理・運営を実施。市民の交流や子育て支援、街づくりにつながるイベント・講座も計画しています。「あそび」で人と人をつなぎ、まちをつないでいく、新しい取り組みです。

当施設は、6ヶ月から12歳までの子どもたちが利用できる全天候型の有料室内あそび場「ガタゴト」、様々なイベントやアクティビティが楽しめる多目的室やライブラリー、地元の方々が集い、ゆったりとした時間を過ごすことができる「プレイフル・カフェ」の3施設が一体となった空間です。

1. 室内あそび場「ガタゴト」



<室内遊び場「ガタゴト」イメージ>

有料室内あそび場「ガタゴト」は、遊びを通して、同年齢はもちろん異年齢の子ども同士の協働やコミュニケーションの楽しさを感じられる、親子のあそび場です。天候にかかわらず、子どもの興味や発達に合わせて思う存分遊んでいただけるよう、4つのエリアで構成されています。

「屋外エリア」は、多彩な植物が植えられたお庭のような空間で、砂遊びや水遊びができます。「アクティブエリア」は、身体を思い切り動かして走る・跳ぶ・登る・回るなどの様々な動作を体感でき、「静のあそびエリア」は、ごっこ遊びや組み立て遊びなど、社会的なコミュニケーションを促したり、想像力や創造性を育むあそびが楽しめます。また、赤ちゃんの専用の「ベビーエリア」にはハイハイやつかまり立ちといった動きを促すしかけや、音・感触・視覚など五感を刺激する、発達に役立つ遊具を多数取り揃えています。

場内には、あそび場のシンボル遊具となる2階建ての大きなプレイハウスを設置。家全体を使ったダイナミックなごっこ遊びをはじめ、窓や扉をくぐる、はしごや滑り台を使って登り降りするなどの身体遊びも楽しめます。

場内には、子どもの発達や興味に沿ったあそびを引き出すあそびの指導役「プレイリーダー」が常駐し、親子のあそびのサポートを行うほか、あそびのイベントを定期的に開催します。運動遊び、組み立て遊び、工作遊びなどの様々なあそびが楽しめる事前告知型のイベントや、当日あそびの内容が発表されるサプライズイベント、赤ちゃんが家でもできるあそびのヒントをお届けするイベントなどの実施を予定しています。



あそび場イメージ

2. 多目的室、ライブラリー

まちづくりをお手伝いする拠点として、市民や企業・団体をつなぎ、地域の文化や子育て支援情報を発信するさまざまなイベントやアクティビティが実施できる多目的室と、児童書を中心に多様な書籍が揃った、親子でゆったりとくつろぎながら読書や読み聞かせを楽しむことができるライブラリーが一体となった施設です。

多目的室は3室あり、事前予約制で誰もが利用できる空間です。

またライブラリーには、まちづくりの拠点として、まちづくり活動に関する地域情報や子育て情報も揃います。市民の皆様が主体的にまちづくりに参加できるようサポートします。

3. プレイフル・カフェ

親子や親同士、学校帰りの学生、シニアの方々など、地域の人々の交流の場として気軽に利用できる、開放的なカフェコーナーです。親子であそびやお出かけに出た際の休憩や、同じ子育て中のパパ・ママとの情報交換、友人同士でのおしゃべりなど、様々な用途でご利用いただけます。

また、「あそび」をきっかけに自然と笑顔が生まれる空間となるよう、子ども～高齢者までが広く楽しめる、当社が世界中から選りすぐったボードゲームやパズルゲーム、カードゲームなどの遊具を揃えています。コーヒーやお茶を片手にじっくりチャレンジしたり、友人同士や親子と一緒に遊んだりできます。

京都府京都市「京都市交流促進・まちづくりプラザ」概要

- 所在地：京都府京都市西京区川島五反町 18 番地の 2
- 施設面積：述べ床面積 811.46 m²／敷地面積 1687.41 m²
 - 1) 南棟 1(室内あそび場「ガタゴト」)：約 400 m²
 - 2) 南棟 2(プレイフル・カフェ)：90 m²
 - 3) 北棟(多目的室、ライブラリー等)：320 m²
- 利用可能時間
 - 1) 室内あそび場「ガタゴト」：10:00～18:00(最終受付 17:00)
 - 2) 多目的室・ライブラリー
 - 多目的室：日曜日～木曜日 10:00～17:00(最終利用開始時間 16:00)
金曜日・土曜日 10:00～20:00(最終利用開始時間 19:00)
 - ライブラリー：10:00～20:00
 - 3) プレイフル・カフェ：10:00～17:00(最終オーダー16:30)
- 対象年齢
 - 1) 室内あそび場「ガタゴト」：6ヶ月～12歳までの子どもとその保護者
- 料 金
 - 1) 室内あそび場「ガタゴト」：
 - 個人利用 1時間ごと／人 200円(市外在住者の場合 300円)
1日上限／人 400円(市外在住者の場合 600円)
 - 団体利用 1日／人 360円(事前申込制)※お子さまのみでのご利用はできません。必ず保護者同伴でご利用ください
※団体利用の場合は事前のご登録が必要です
 - 2) 多目的室・ライブラリー：
 - 多目的室 第1多目的室 710円／1時間
第2多目的室 510円／1時間
第3多目的室 850円／1時間※多目的室の貸し出しには事前予約が必要です
- 開 業 日：2020年9月11日(金)
- 運 営 管 理：株式会社ボーネルンド
- 電 話 番 号：室内あそび場「ガタゴト」075-393-3737
多目的室・ライブラリー 075-382-1060

【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 78ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3万 5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタート。全国 21ヶ所、年間約 277万人、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約 51ヶ所、年間 350万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報室 担当:村上
TEL:03-5785-0860、080-5901-3591
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーネルンド
TEL:0120-358-518(月～金 10:00～17:00)